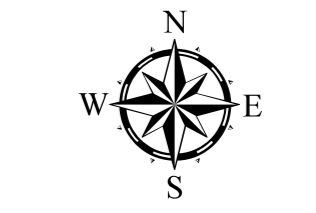


計算条件: 最高水面(零位)
 隆起量: 平均-0.02m
 Zo: 0.90m
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。



座標系:メルカトル図法
 測地系:世界測地系(WGS84)



凡例

水位上昇(+10cmとなる等時線[分])

最大水位上昇

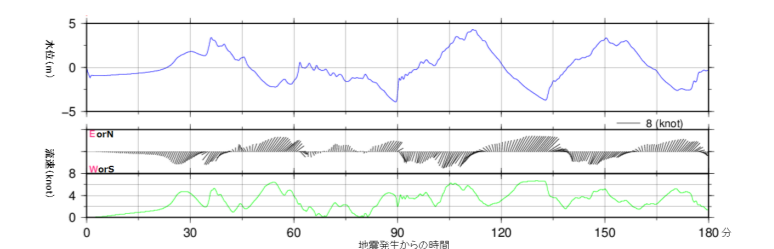
0.5~最大1.7m

0.5未満

経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を断面の経時変化図で示す。)

水位、流向・流速経時変化図



進入時最大流 [knot]

3 knot

2 knot

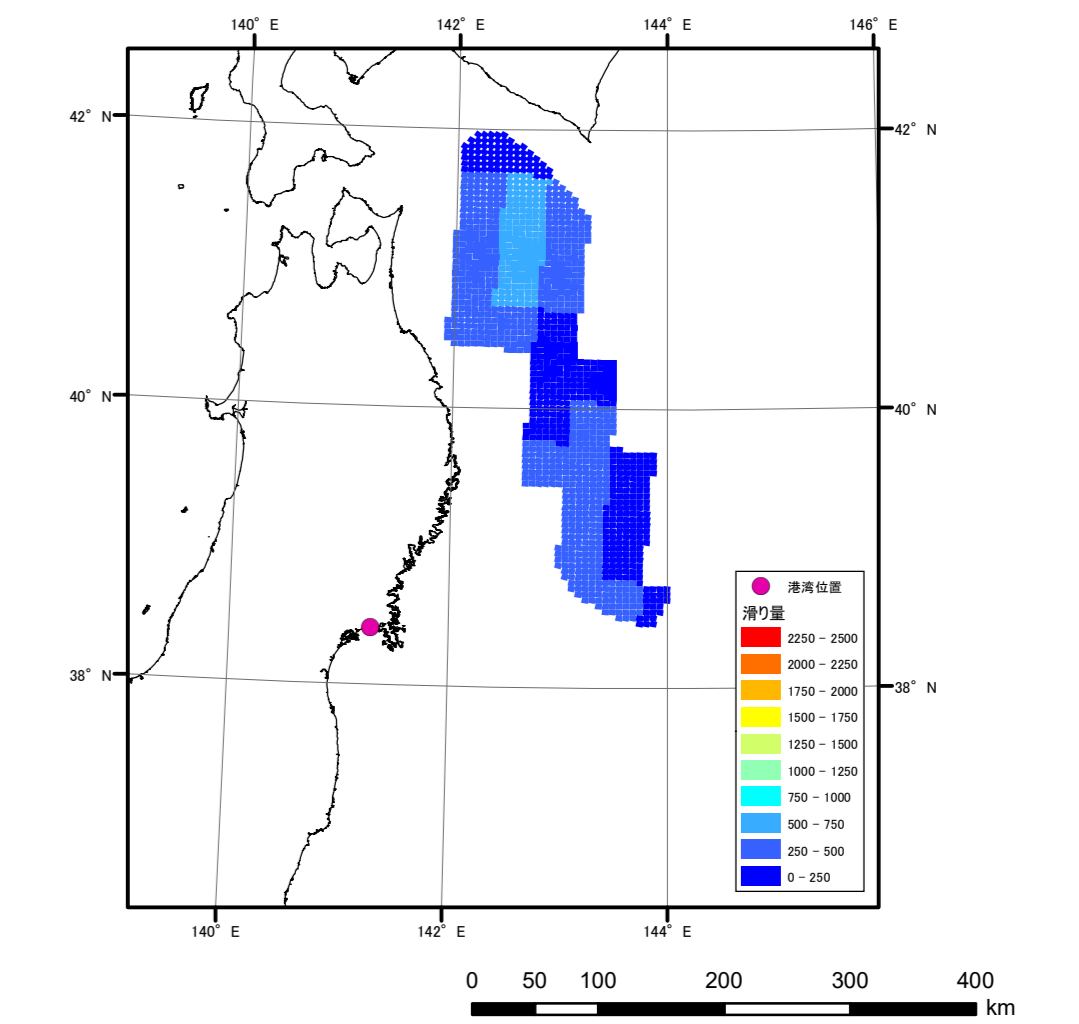
1 knot

津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。

防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断面モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw	8.4
-----------------	-----

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情保 第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

作成機関: 海上保安庁
 防災情報図作成年月: 平成29年8月(初版)
 地形データ作成年月: 平成29年1月(初版)